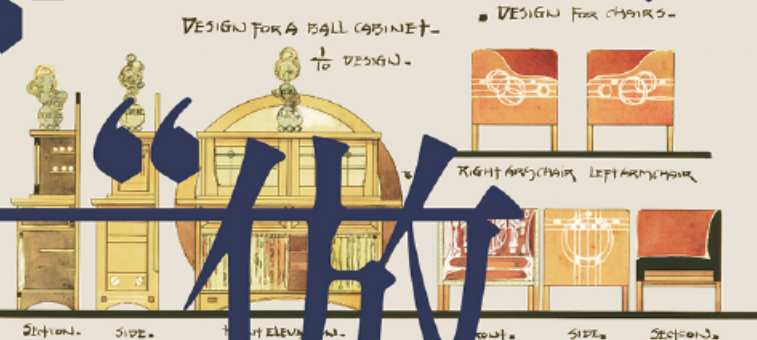




“倣”から

“童話劇”へ
“創る”



関連企画 シンポジウム

日時：2015年6月20日（土）13:30-16:30

会場：京都工芸繊維大学 60周年記念館

基調講演 佐藤道信（東京藝術大学教授）

講演 佐藤敬二（京都精華大学デザイン学部教授）

松尾芳樹（京都市立芸術大学美術資料館 学芸員）

岡達也（本展企画担当）

ディスカッション 司会 並木誠士（京都工芸繊維大学美術工芸資料館館長）

申込不要、入場無料

※詳細は当館ホームページをご覧ください。

同時開催中『オリンピックポスター展』

2015年6月15日（月）-7月31日（金）

“倣う”から“創る”へ

—京都高等工芸学校・京都市立美術工芸学校の図案教育Ⅱ

2015年6月15日（月）-7月31日（金）

開館時間 10時-17時（入館は16時30分まで）

休館日 日曜・祝日

入館料 一般200円、大学生150円、高校生以下無料

※ただし、京都・大学ミュージアム連携所属大学の学生は無料です。

お問合せ 〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町

TEL 075-724-7924 <http://www.museum.kit.ac.jp/>



京都・大学ミュージアム連携
University Museum Association of Kyoto

京都工芸繊維大学
美術工芸資料館
MUSEUM AND ARCHIVES

本展覧会は、2011年度に京都市内の13大学14ミュージアムが連携して立ち上げた「京都・大学ミュージアム連携」の活動の一環として、京都工芸繊維大学美術工芸資料館と京都市立芸術大学芸術資料館の合同企画として開催するものです。

2014年に開催した「浅井忠・武田五一と神坂雪佳 ー京都高等工芸学校・京都市立美術工芸学校の図案教育I」では、京都高等工芸学校と京都市立美術工芸学校の2校の図案科の設立期に焦点をあて、両校の教育カリキュラムとその成果物である生徒作品を通して明治期の図案教育について比較しました。連続企画の第2回目となる本展では、両校の設立初期から明治後期・大正期に時代を移して、両校の生徒作品から当時の図案の変化を見ていきます。

京都市立美術工芸学校図案科は1907（明治40）年に京都御苑内の校舎から上京区吉田川端通荒神口上ル二筋目東入ルの新築校舎に移転し、また1909（明治42）年には美術工芸学校の一部を使用して京都市立絵画専門学校を開校しました。京都府画学校に端を発する美術工芸学校は、高度な描画技術とそれに裏付けられた図案制作技術の習得を目指した指導を継続していました。

一方、京都高等工芸学校図案科では、初代教授の浅井忠が1907（明治40）年に死去し、それ以降は建築家の武田五一と同じく建築家の本野精吾を中心として、図案制作に関わる知識や技術を「図案学」というひとつの領域として構築することを目指した教育をおこなっていました。

当時は実社会においても公共機関が主催する図案公募展や百貨店を中心とした企業が企画する図案懸賞などが増加し、図案がひとつの分野として確立されていった時期です。そうした時代の中で、社会の要請に応える人材を育成するためにおこなわれていた図案教育の成果の一側面をご覧ください。



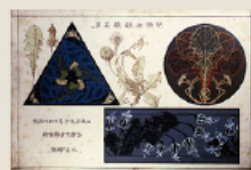
8.



9.



10.



11.



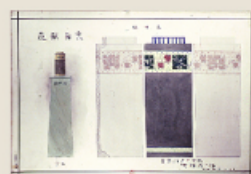
12.



13.



14.



15.

- a. 三崎庵府《化粧欄図案》1903年
 - b. 本多主計《百合園間仕切図案》1907年
 - c. 今永英世《Baywindow Elevation, Exterior of Verandah, Section of Verandah (s1/10)》1909年
 - d. 能瀬正三《草花模様化粧欄》1911年
 - e. 阿部房次郎《花瓶図案》1912年
 - f. 布施結詮《芥子店用寝台掛図案》1907年
 - g. 柳原啓二《童話劇》1924年
 - h. 小合友之助《モザイク壁飾図案》1916年
- a,b,f,h: 京都市立芸術大学芸術資料館蔵
c,d,e,g: 京都工芸繊維大学美術工芸資料館蔵

●JR「京都」駅、市営地下鉄「烏丸御池」駅から
市営地下鉄烏丸線「国際会館」行に乗車、「松ヶ崎」駅
下車、徒歩約8分（「松ヶ崎駅」の「出口1」から右（東）
へ約400m、4つ目の信号を右（南）へ約180m）
●京阪「出町柳」駅5番出口から
京阪バス「大原」行、「岩倉実相院」行、「岩倉村松」行
に乗車、「高野泉町」下車、橋を渡り左へ約200m（徒
歩約8分）
By Subways: Take the "Kokusai Kaikan" bound
Karasuma Lines Subway to "Matsugasaki" Station,
and walk east for about 8 min.



京都工芸繊維大学美術工芸資料館
606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町
Tel 075-724-7924
<http://www.museum.kit.ac.jp/>

Kyoto Institute of Technology,
Museum and Archives
Hashigami-cho, Matsugasaki,
Sakyo-ku, Kyoto, 6068585, Japan